



# 平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは  
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2020年11月12日 第 3284 回 週報第 3284 号

本日11月12日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 45(44)名	出席率 71.43%			
前々回10月22日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 40(40)名	出席率 64.52%	MUP 3名	計 43名	修正率 69.35%

## 本日の卓話者ご紹介

### 第2780地区 ガバナー 久保田英男 様



## 卓話

### 「ガバナー公式訪問」

#### 第 2780 地区 ガバナー 久保田英男

吉野 A G から過分なご紹介を頂きました久保田です。  
(お兄ちゃんです) 新型コロナについて皆さんにお話があります。

地区研修協議会を第 8 グループの皆さんに計画して頂き、2 年間に渡り準備をして頂いたのに開催に至りませんでした。準備に感謝を申し上げると共に開催出来なかった事をお詫び申し上げます。今年 1 月の後半からダイヤモンドプリンセス号が着岸してからそのような事態になりました。ガバナーエレクトとしてサンディエゴの研修に参加して帰国したばかりの頃でした。そのころからコロナの猛威が広がり、様々なセミナーが中止になってオンラインとなり地区研修会もオンラインとなりホノルルで行われる世界大会それも中止。本当にどうなるのだらうと思いました。

緊急事態宣言で過去経験したことのないこと、特に前年の清水会長におかれましてはこれから自分のカラーをより強く出そうという時にこういうことになって本当に悔しかったと思います。鳥山会長も準備を進めるにあたりコミュニケーションがしっかりとみんなと取れない状

況の中、新年度を迎えなければならないという異例づくしの新年度を迎えました。そのような環境の中でやっとみなさんと直接お会いできるこの公式訪問でしたので、楽しみにしていました。双方向で会話できる唯一の機会となる公式訪問で、オンラインのクラブは 3 クラブありました。

皆さんと同じクラブのメンバーの気持ちになってこのコロナ禍の 1 年をどうすごしていくかどう乗り越えて次の柏手年度につなげていくのか、同じ目線で話したいと思ってここに来ています。今年は、公式訪問はビジュアルに訴えることをせず、自分の言葉ですべて話をしようと思って来ています。皆さんの声を自分の耳で聞いて自分の頭で判断して、そしてそれを地区に生かし、ロータリーに生かしていく。そして最後に平塚クラブがもっともっと活気のある元気のあるクラブにしていく。そのきっかけになればと思いこの場に立っています。この状況下としてロータリーに何が出来るか、どう活動していくか、そういうことが問われる時だと思っています。

今年は日本ロータリーができて 100 年目の節目の年です。その 1920 年はどういう年だったかというところから 1918 年からヨーロッパで、今でいうインフルエンザスペイン風邪が大流行し 1919 年には世界中に飛び火しました。日本でも何万という人が亡くなりました。そんな年に日本のロータリーはできたのです。奇しくも 100 年後、同じようなパンデミックの中に私達はいます。リーダーとしてどう動けばいいか難しい局面に立たされています。

ロータリーで培ってきた事をこういう時だからこそ思い出すべきです。私達ロータリーアンは変わらなければ



いけない。なぜなら世の中が変わっているから。しかし守らなければならない事も沢山あります。スマイルにも書きましたが、平塚クラブは地区の中で3番目に古い歴史のあるクラブです。65年前に平塚にロータリークラブを作ろうと思った先輩方がどういう思いで作られたのか。65年間積み重ねてきたものをもう一回振り返ってみて下さい。活動計画書に記録が残っていますが、まだロータリークラブがない時代に斬新で革命的な考えとして、平塚にロータリークラブが必要だと決断したのです。非常に勇気のある行動であるし、熱意がなければ実現しなかったと思います。そのおかげで今私達はロータリアンとしてここにいます。新しい事をする事は前の物を壊す事ではなく、前の物を守り大切なのは積み重ねていく事。伝統を守りつつ新しい伝統を作っていかなければならない、という風に思っています。ここにいる皆さんはその機会に巡りあっています。後輩達に何が残せるか考えなければいけません。単年度で動いているがメリット、デメリットがあります。長期的に物事を見ることが戦略計画であります。長期計画とも置き換えられます。こちらでは長期計画をしっかりやられているが、目標と目的を常に共有しながら達成する方向にもっていくことがすごく大事です。レビューしてプラン変更をする勇気を持つ目標や目的を達成するにはそれがすごく大事です。今までは忙しくてスケジュールをこなす感覚でした。しかし、たまたま今コロナで立ち止まって見直そうよと言われているのかなと思っています。70周年に向けどうしていくべきか時間がもらえたのかなとそういう風に思っているみんなが集まって、初めてロータリーは成り立ちます。ロータリアンとして何が出来るのか準備と種まきが出来ると思っています。

コロナだから出来ない理由は沢山ある。逆転の発想でコロナだから出来る、収束したらどんと行く、色々な事が出来るのではないかと思います。私達はこういう事をすれば喜んでくれるだろうという行動をしてないか。相手方に本当に必要な物は何か、どうしたら喜んでもらえるか、素直に聞くと正しい答えが返ってくる。行政や他の団体が手を出せない隙間の部分です。ロータリーの大事な事は機動力であり異業種の集まりであります。リーダーの集まりです。現在、青少年交換の事業が中断しています。ロータリー財団の奨学生が現地に行けなくなりました。ロータリーは経済的な援助だけでなく、一番大切なのはロータリアンが常にその学生達と寄り添うことです。クラブという単位でその学生を見守ってあげる、というシステム、若い世代と繋がりを作るという、そういうことを知って行動に移してもらいたいです。私としてはRYLAを本当にやりたかったです。新しい世代の人材を作っていくためにも。これからコロナがどうなるかわかりません。with コロナだから活動が制限されるかもしれません。

今は折角時間がもらえるので、考える時間と準備する時間がもらえたと考え、アフターコロナの事を考えましょう。70年80年、その時の平塚RCの姿をそこに向かって一緒に達成感を感じてという風に思っています。私はクラブ訪問66回とも全部違う話をしているが「一分の一」の気持ちで話をさせてもらいました。クラブが楽しく出

る事が嬉しい。そういう日が早く戻る事を期待していません。



例会後のガバナーと新会員との懇談会

## 会長報告

本日はガバナー公式訪問です。ガバナーと聞いて皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。そしてガバナーがどのような役割を担っているかご存知でしょうか。なんだかすごそうな人、偉い人、クラブを指揮・監督する人。もちろんそれも間違えではありません。しかし、ガバナーの一番大切な役割は“クラブのモチベーションを高める”ことです。

そして本日いらっしゃった久保田ガバナーは、まさにその役割に相応しいお方です。他の地区の話を知ると、ガバナーについては「神様のように崇められている」という声も耳にします。尊敬の念を抱くという意味では、それもガバナーの一つの姿なのでしょう。しかし、あまりに遠く、手の届かない存在だと、近寄りたいたい人になってしまう。そうすると、クラブのモチベーションを高めるといことは難しくなりますよね。

その点、久保田ガバナーは、どの地区のガバナーよりも親しみやすく、私たちに対して、本当に愛情深く見守ってくれる、頼りがいのあるお兄さんのような存在だと私は思っています。これまで久保田ガバナーとは数えるくらいしか言葉を交わしたことはありません。しかし次年度方針やガバナー月信に書かれている久保田ガバナーのメッセージからは、気さくで話しかけやすいお人柄を感じていました。そして先日開催された地区大会で、私のその想いは確信に変わりました。

地区大会の最後は点鐘で締めくくりますが、本来なら何も言わずに鐘を鳴らすところ、久保田ガバナーは一言だけ話させてくれと言いました。その際、開催自体が危ぶまれたこと、うまくいかないかもしれないと思ったこと、それでも誰ひとり不平不満を言うことなく一緒についてきてくれたこと、そして今日に至ることができたことを、時折涙を浮かべて語っていただきました。「この人はなるべくしてガバナーになったんだ」その瞬間私は、強くそう思いました。ですから、今日は私たちのことを一番考えてくれてお兄さんが遊びに来てくれた。そんな気持ちでロータリーに関する知りたい事や分からない事を久保田ガバナーにぶつけてみてください。



きっと優しく、温かく迎えてくれると思います。久保田ガバナー、本日はどうぞよろしくお願いいたします。



久保田ガバナーのご紹介をする吉野ガバナー補佐

幹事報告

◎11月14日(土)13:00より、第5回インター・ローターアクト委員会が開催されます。

鳥山会長がリモート会議に出席されます。

◎9月にインドへの国際支援のご協力をお願い致しましたが、第2780地区で総額1,722,733円のご寄付が集まりました。ロータリー財団からの承認がおり次第、全額インドへ送金する予定とのことです。久保田ガバナー、小巻地区国際奉仕委員長の連名で御礼状が届いております。

◎上期情報集会を開催いたします。テーマは「コロナに負けるな！コロナ禍でのRC活動について」～例会・親睦・奉仕活動をポジティブに考える～です。

各グループ幹事は日程が決まりましたら、事務局まで開催日、開催方法、参加者名をご連絡願います。

12月10日の例会でグループごとに皆さんの意見をまとめて、発表をお願いいたします。

本日色別グループ一覧表を配布しておりますので、ご確認ください。

◎例会終了後ガバナーとの懇談会が開催予定です。

入会5年未満の会員が中心ですが、せっかくの機会です。多くの会員にご出席をお願い致します。



10月の地区大会で長寿会員の記念品をガバナーより頂いた升水富次郎会員と小笠原会員

出向者報告

○RYLA委員会 清水裕委員

先日の土曜日7日に第2回RYLA委員会がありました。このRYLAを初めて聞かれた方も大いかと思いますが、実は2780地区では13年間途切れていました。今年度の久保田ガバナーの非常に強い思い入れで復活して、さあ、という時にコロナ禍で具体的な活動ができません。来年に繋げていくこととなります。RYLAとは何かと言いますと、先週米山委員長の常盤さんから話がありましたように、ロータリーは一つという話がありました。それは高校生、大学生に対して、それぞれプログラムがありますが、社会人にもプログラムがあるのです。

来年度に向けて具体的な活動がありますので、RYLAという言葉の頭の方枠に置いていただきたいと思います。

○青少年交換委員会 元吉裕員委員

9/5に帰国者報告会がありました。YouTubeで配信しておりますので、皆さん是非ご覧ください。

委員会報告

○会員研修委員会 高橋建二委員長

今年度の新会員研修セミナーを11/26(木)に開催いたします。例年ですと、夜に開催して、その後に交流会を行っていますが、昨今の状況が良くないので、今年度は例会後の1:30~3:00この場所で開催いたします。対象者は入会5年未満となっておりますが、入会9年目の私も今回いろいろ勉強していて、わからないことが多いと気づき、ぜひ5年未満以外の会員にもよりロータリーのことを勉強していただきたいと思います。参加案内は後ほど事務局よりお送りいたします。

メイクアップ (MUP) 3名

志村拓会員、常盤卓嗣会員、山口紀之会員

本日のスマイル 27名

ゲスト 2名

第2780地区 ガバナー 久保田英男様(鎌倉RC)  
第8グループ ガバナー補佐 吉野龍彦様(平塚湘南RC)

ビジター 0名

卓話・行事予定

11月19日(木) つばさ社会保険労務士事務所  
所長 遠山茂雄様

11月26日(木) 財団資金推進委員会  
副委員長 栗原一郎様

市内例会変更 現在ございません。

